

数学

<全体分析>

試験時間	180 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

<p>解答形式 全問記述式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)</p> <p>出題の特徴や昨年との変更点 分題化されていない問題が1題ある。 かなり難しい問題が増えた一方、易しい問題もある。</p> <p>その他トピックス 特になし</p>
--

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	複素数と方程式	数学II	有理数・無理数を題材とした論証問題。大学受験科のテキストに類題がある。(2)を完璧に証明するのは難しい。	やや難
2	場合の数 数列	数学A 数学B	(1)は有名な等式の証明問題。(2)は基本問題で、(1)を用いずに解くこともできる。(3)では、丁寧に数え上げたい。どの小問も独立に解ける。	やや易
3	図形と方程式	数学II	座標平面上の図形を題材とした問題で、(1),(2)は易しい。(3)も、問われている内容を正しく理解すれば易しい。	やや易
4	複素数平面 数列	数学C	(1)は直線に関する対称移動についての問題。極形式の性質を活用することで、処理量を減らしたい。(2)の漸化式を解くには、発想力だけでなく、かなりの計算力も要求される。	難
5	積分法 極限	数学III	定積分の極限值を評価する問題。前半では、極限值を予想する必要がある。大学受験科のテキストに類題があり、経験者は優位に立てたであろう。後半では、極限值が早い段階で10を超えると予想がつくかどうかのポイントになる。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>典型的な問題を確実に解けるようにしたら、難しい問題に挑戦しよう。わからない問題があってもすぐ解答を見るのではなく、粘り強く考える習慣を身につけたい。また、解答を見た場合でも、その内容を理解して満足するのではなく、後日その問題を最後まで解き切ってもらいたい。</p>
